



◆ 今年度の就職内定状況について ◆

9月16日の就職解禁後、本校からは32名の生徒が就職試験を受験しました。今年度の希望については以下のことが特徴として挙げられます。

- ・ 接客や販売職など、対人関係が重視される企業への希望者が多い。
- ・ 製造・生産関係など、製造業希望者が多い。
- ・ 難関と言われる企業へのチャレンジ精神旺盛な生徒が多い。

今年度も昨年度に引き続き求人が好調だったため、進路指導部から勧めやすい企業が多く、また大手企業へ挑戦したいという生徒も多数おり、就職希望者全員が意欲的に面接指導に臨んでいました。

また、企業に入社して通用する人材へと成長してほしいとの思いから、内定者のさらなる成長を目指した指導を進路指導部では計画中です。就職試験時以上に成長した姿を4月の入社式で見せられるようにしていきたいと考えています。

3年生の皆さんは、内定を得た喜びと企業への感謝の思いをしっかりと把持し、今後の社会人生活へ心構えを作っていきましょう。

～内定先速報(10/8 現在, 敬称略, 順不同)～

☆ 県内

飯塚製作所	溝辺カントリークラブ	鹿児島くみあいチキンフーズ		
ニシムタ	芙蓉商事	津曲商店	日本通運	南国テレホン
南国殖産	大三ミート	ワールドサンフーズ	c x カーゴ	
サンライト化成	danken	カーブス	イケダパン	森三
日本郵便	ダイレックス	薩摩蒸気屋	鹿児島総合警備保障	

☆ 県外

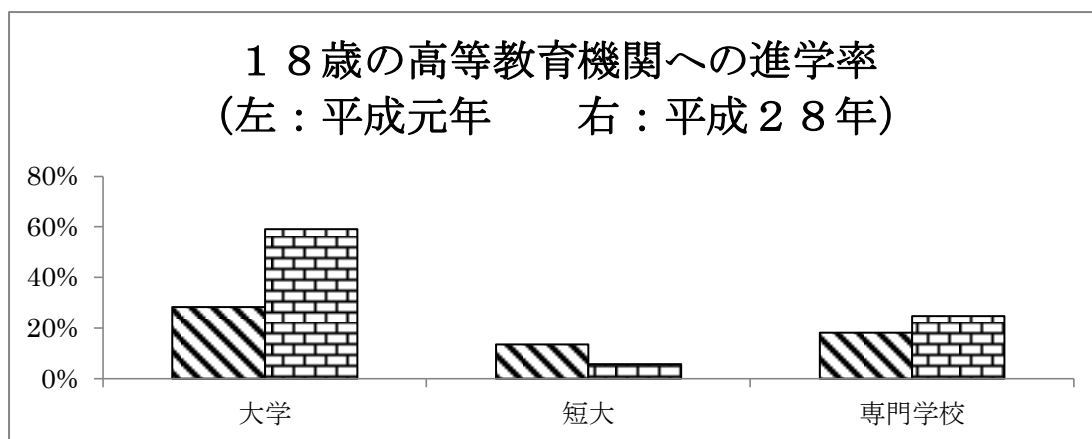
山崎製パン	日野自動車	はせがわ	三徳	オオゼキ
-------	-------	------	----	------

まだ高校生活は終わっていません。進路決定後も頑張ってください。

◆ 進学を決定する際に検討すべきこと ◆

- ・ 学費の準備は可能か。(初年度納付金の金額と納入期限, 2年目以降の学費)
- ・ 自分の適性を活かした進学となっているか。
- ・ 学力面について行くことは可能か。
- ・ 資格取得率等を把握しているか。
- ・ その学校を卒業した後に本当に自分の思ったような職に就くことができるか。

◆ 進学率の推移から何を見る？ ◆



(出典：文部科学省「学校基本統計」)

上のグラフは、平成元年と平成28年における、全国の高校生の高等教育機関への進学率を表したものです。ぱっと見たとき、下のようなことを考えると思います。

- ① 大学進学者数が増えた
- ② 専門学校への進学者数が増えた

以後、進学にせよ就職にせよ、このようなグラフを見る機会が増えますので注意しましょう。このグラフでは、**縦軸が%で書かれています**。専門学校進学者を例にとると、%の値は若干増加しています。しかし、このグラフからは読み取れませんが、実は**人数**で見た場合、18歳の進学者数は「平成元年は31万人、平成28年は26万人」と減少しています。この背景には単純に「高校生の人数が減った」ことも一因として上がりますが、何より「大学へ入学しやすくなった」ことが大きいです。こういうことも視野に入れ、進学を考えている生徒は学校調べを行いましょう。

◆ 理想の自分に近づく ◆

「目標を立てる」。簡単なようで実は難しいですが、今まで誰もが目標を立てたことはあるはず。小さなものから大きなものまで内容も異なります。その目標を達成するために様々な工夫がありますが、次から目標を立てる際に「**より具体的なテーマ**」を意識してみましょう。

部活動の大会を例にとると、「県大会でベスト8に入る」を目標に立てたとします。ただ、この目標では漠然としすぎてそこに達成するための具体的な方策が見えません。これを「失点は2点までに抑え、3点取る試合を続けてベスト8に入る」だったらどうでしょう？「失点を2点までに抑える方法、3点以上とる方法を練習で得る」といった、より**具体性の高い練習方法を考える**行動につながりませんか？これを続けていけば、より一層自分が求めている理想に近づきそうではないですか？

目標を立てることは易しくても、達成への道のりは険しく、途中で諦めてしまいたくなることもあるでしょう。でも、歩き続けること、倒れたら立ち上がって、また歩き続けることが大切です。時には立ち止まって休んでもいい。ただ、**再び歩き出せるかが目標達成の分かれ道**です。目標を達成する一番の近道は、もしかしたら「やり続ける自分を作っていくこと」なのかもしれませんね。